

学 年	6年	時 間	理科「大地のつくりと変化」 「紙ぶるるで建物の揺れを調べよう」	時 期	11月	時 数	1時間(45分) 第12時/全14~16時間
本時目標	建物の仕組みや揺れ方について知り、紙ぶるるを作って揺らしたり筋交いのある場合とない場合を試したりすることによって、筋交いの効果を実感することができる。						
資料・準備	紙ぶるる、スライド資料、映写機器、総務省消防庁「チャレンジ防災48」の映像24・25						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 前時の学習の地震による建物被害を思い出す。	○断層の走っている場所との関わりはあるものの、建物被害の実際から建物の耐震性について感じ取らせる。
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>「紙ぶるる」を作って建物の強度について考えよう。</b> </div>	
	2 地震による建物の揺れと建物の仕組みについて知る。 ◇揺れについてスライドで学習しましょう。	○スライド資料4(「紙ぶるる」を作ろう!)を活用して、揺れについて学習させる。
	3 「紙ぶるる」を作って、揺れ方を試す。 ◇「紙ぶるる」を作りましょう。  ◇筋交いがある場合とない場合の揺れ方の違いを試してみよう。	○スライド資料4(「紙ぶるる」を作ろう!)を作業の流れに従って1コマずつ進める。または、手順を順に説明しながら作らせる。 ○全員に同じように、また班で協力しあって作成させる。 ○教師も適宜支援する。
	4 建物の壊れ方についての映像を見て、被害を減らすための方策について考え、話しあう。 ◇被害を減らすために、自分または家族と一緒にできることはどんなことか考え、班で話しあいましょう。  ◇班で話しあったことを代表に発表してもらいます。	○「チャレンジ防災48」の映像資料24・25を見せて、被害を減らす方策について班で話しあい、発表させ、共有する。  ○できることから、家に帰って実行する意欲を高めさせる助言をする。
ま と め	5 本時の学習の振り返りをし、感想を発表する。	○今日の学習の内容について、家族に話し、できることは実行するよう意欲を高めさせる声かけをする。

関連する 教科・領域等	
協力団体	鳥取大学